

シラバス

事業者名 非営利活動法人 福祉ネットワーク協会
研修事業の名称 介護職員初任者研修 通学コース

1 職務の理解（6時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 多様なサービスの理解	2時間	《講義内容》 ・介護職が働くサービス現場にどのようなものがあるか、介護保険サービス（居宅・施設）とそれ以外（障害者（児）サービス等）について理解する。 《演習》 ・グループワーク「介護のイメージ」を話し合う
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	4時間	《講義内容》 ・多様な居宅、施設サービス現場におけるそれぞれの仕事内容を理解する。講師の経験談や、視覚教材『現場紹介』を活用し理解を深める。 ・ケアプランから始まるサービス提供に至るまでの一連の流れ、チームアプローチ・他職種との連携等介護サービスの提供についてイメージを持たせる。 《演習》 ・自己紹介カードを使い、授業の内容を踏まえてどんな介護職員になりたいかを考える。
合計	6	

2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 人権と尊厳を支える介護	6時間	《講義内容》 ・次の項目について事例を示しながら理解する。 人権と尊厳の保持、QOL、ICF、ノーマライゼーション、虐待・身体拘束の禁止、個人の権利を守る制度の概要を理解する。 《演習》 ・「ノーマライゼーション」の考え方についてワークシートに記入し理解を深める。
② 自立に向けた介護	3時間	《講義内容》 ・自立支援・介護予防の考え方について、具体的な事例を示しながら理解をする。 《演習》 ・検討事例を示し、自立支援・介護予防という考え方に基づいたケアについてグループワークを行う。
合計	9	

3 介護の基本（6時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 介護職の役割、専門性、他職種との連携	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センターの創設の背景からチームケアの意味を理解する。 ・ 各介護現場での介護職の役割（専門性）について、具体的な事例を示しながら理解する。 ・ 福祉・医療・保健分野の各専門職について理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他職種の情報共有と専門性を活用した効果的なサービスについて事例を基に討議する。
② 介護職の職業倫理	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職の職業倫理の重要性を理解し、介護職が利用者や家族等とかわる上での留意点を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような介護職員を目指すのか、振り返りシートを記入し発表する。
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護の場で起きやすい事故や感染などの主なリスクを理解する。 ・ 事故予防、安全対策、リスクマネジメント、分析の手法と視点、事故に至った経緯の報告・情報の共有について学ぶ。 ・ 感染源の排除、感染経路の遮断など感染について正しく理解する。
④ 介護職の安全	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職の心身の健康管理について、感染症対策等具体的な事例を示しながら理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 腰痛予防体操、ストレスマネジメントの方法、感染予防（手洗い方法等）について実践して理解する。
合計	6	

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 介護保険制度	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度創設の背景とその後の予防重視型システムへの転換、地域包括ケアシステムの推進について理解する。 ・ 介護保険制度のしくみ、認定の手順、財源などを理解する。 ・ ケアマネジメントと予防給付について理解する。

		<p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度のしくみについてチャート図を記入し理解を深める。
② 医療との連携とリハビリテーション (1)	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションの理念を、具体的な事例を示しながら理解する。
② 医療との連携とリハビリテーション (2)	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料（厚生労働省通達文書）を用いて、介護職が行える医行為、行えない医行為を理解する。 （参考文献：「医行為ではない行為」） ・訪問看護師の役割と連携の持ち方を理解する。 ・施設における看護と介護の役割・連携 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行える「医行為」、行えない医行為についてワークシートに記入し理解を深める。
③ 障害者総合支援制度及びその他の制度	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉制度の理念、障害の概念を理解する。 ・障害者総合支援法のしくみ、申請の流れ、財源、サービス種別を理解する。 ・個人の権利を守る制度の概要を理解する。（個人情報保護法、成年後見制度、自立生活自立支援事業）
合計	9	

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 介護におけるコミュニケーション	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共感的態度、受容的態度、傾聴的態度を具体的に説明し、理解する。 ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際について、事例を示しながら理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談援助の技術を習得するために、訪問時のあいさつから退室までを1：1でロールプレイする。 ・「バイスツェックのケースワークの7原則」についてワークシートに記入し、相談援助の方法について考える。
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護記録の意義について、具体的な事例を示しながら理解する。 ・チームケアにおいて、情報の共有化とカンファレンスの重要性について、具体的な事例を示しながら理解する。 <p>《演習》</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・「緊急時の連絡方法について」グループで話し合う。 ・事例に基づき介護記録を記入する。
合計	6	

6 老化の理解（6時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴を理解する。 ・老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「老化に伴うこころとからだの変化」についてワークシートに記入し、理解を深める。
② 高齢者と健康	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の疾病と生活上の留意点を理解する ・高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者と健康」についてワークシートに記入し理解を深める。
合計	6	

7 認知症の理解（6時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 認知症を取り巻く状況	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念について、具体的な事例を示しながら理解する。 ・パーソンセンタードケアについて理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚教材「ボケなんか怖くない」で、認知症の利用者との関わり方を視聴し、グループワークでさらに理解を深めることを通じ、仕事に就いた時のイメージをもつ。
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理について講義する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「さまざまな認知症の特徴」についてワークシートを記入し理解を深める。
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中核症状と周辺症状を正しく理解できるよう講義する。 ・利用者を中心としたアセスメントの方法を講義する。 <p>《演習》</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討「たそがれ症候群」—徘徊の背景と利用者の心理を理解する。 ・「中核症状と周辺症状の違い」についてワークシートに記入し理解を深める。
④ 家族への支援	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の受容過程での援助及びレスパイトケアについて、具体的な事例を示しながら理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで「家族の立場」を話し合い、理解を深める。
合計	6	

8 障がいの理解（3時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 障がいの基礎的理解	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいの概念をICFの生活機能モデルを用いて理解する。 ・障がい者福祉の基本理念をノーマライゼーションの理念を用いて理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ICF生活機能モデル」についてワークシートの記入し、理解を深める。
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援の基礎知識	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各障がいの特性及びかかわり支援等の基礎知識を講義する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材「脳性まひ」を視聴し、介護を受けながら生活している実際を理解する。 ・「知的障害」についてワークシートの記入し、理解を深める。
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい受容過程を理解し、レスパイトケアについて、具体的な事例を示しながら理解する。
合計	3	

9 こころとからだのしくみと生活支援技術（76時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 介護の基本的な考え方	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護、法的根拠に基づく介護について、具体的な事例を示しながら理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICFの生活機能モデルシートを事例に基づいて記入する。 ・「求められる介護福祉士像」についてワークシートの記入

		し理解を深める。
② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援の介護に必要となる意欲や生きがいなど、援助するために必要となる知識を理解する。 ・ 記憶のメカニズムを理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループワーク「個人因子＝個性？」を考える。 ・ 記憶の仕組みについてワークシートに記入し理解を深める。
③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人体の各部の名称と動き及びバイタルサインに関する基礎知識を理解する。 ・ 骨・関節・筋に関する基礎知識及びボディメカニクスの活用に必要となる基礎知識を理解する。 ・ 中枢神経系と体性神経に関する基礎知識を理解する。 ・ 自律神経と内部器官に関する基礎知識を理解する。 ・ こころとからだを一体的に捉える。 ・ 利用者の様子の不断との違いに気づく視点を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな姿勢を体験することを通じて身体のしくみの理解を深める。 ・ 「脳の働き」についてワークシートに記入し理解を深める。
④ 生活と家事	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家事と生活の理解、家事援助に関する基礎知識と生活支援について理解する。 ・ 糖尿病等の知識と献立作成方法を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の生活習慣や価値観について、掃除、洗濯、調理、買い物それぞれの留意点をレポートにまとめる。 <p>*サブテキスト「簡単おいしいクイックレシピ集」</p>
⑤ 快適な住環境整備と介護	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 快適な居住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法について理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 片麻痺の人の在宅生活で必要となる福祉用具とその設定する位置を考える。
⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 整容に関する基礎知識、整容の支援技術について理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例：片麻痺の方への一部介助、 ・ 事例：介護度の高い方への全介助

		<ul style="list-style-type: none"> ・洗面・整髪の介助 ・衣類の着脱（前開き、丸首） <p>*パジャマ上下、丸首Tシャツ、浴衣、ベッド、椅子</p>
⑦の1 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援について理解する。 <p>《演習》</p> <p><起居介助><移乗介助><体位（臥位、椅座位）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例：片麻痺の方への一部介助 ・事例：介護度の高い方への全介助 ・ベッド⇒車いす、椅子⇒車いす、椅子⇒椅子 <p>*ベッド、車いす、椅子</p>
⑦の2 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介助者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、移動と社会参加の留意点と支援について理解する。 <p>《演習》</p> <p><移動介助></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例：車いすを利用する方の移動介助(段差、溝、悪路) ・事例：片麻痺等の方の杖歩行介助（階段、障害物など） ・事例：歩行器を利用する方の移動介助 ・事例：視覚障害のある方のガイドヘルプ <p>*車いす、杖、歩行器、白杖、アイマスク</p>
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援について理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例：利き手変換をしている方への介助 ・事例：嚥下障害の方への食事介助 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな食事形態の試食体験を通して正しい嚥下の方法を理解する。 ・姿勢を変えて食事介助を受けることで、食べやすい介助を理解する。 ・口腔ケアの方法 <p>*ベッド、自助具、椅子、テーブル、幕の内弁当、飲み物、ヨーグルト、箸、スプーン、コップ、歯ブラシ、ガーグルペ</p>

		ース、タオル、エプロン、とろみ剤、刻み食、ブレンダー
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 入浴、清潔保持に関連した基礎知識、さまざまな入浴用具と整容用具の活用方法、楽しい入浴を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例：片麻痺の方への浴槽への出入りと洗身の介助 事例：入浴ができないときの全身清拭の介助 事例：部分浴（手浴、足浴）の介助 ベッド上での洗髪介助 <p>*ベッド、浴槽、バスボード、タオル、シャワーチェアー、滑り止め、湯、ハンドタオル、バスタオル、バケツ、洗面器、温度計</p>
⑩の1 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> 失禁体験の発表 事例を用いて排泄に関するアセスメントをする 事例：片麻痺の方へのポータブルトイレの介助 <p>*ベッド、ポータブルトイレ、リハビリパンツ、洗浄ボトル、トイレットペーパー、手拭きタオル、バスタオル</p>
⑩の2 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	5時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 排泄に関する基礎知識、さまざまな排泄環境整備と排泄用具の活用方法、爽快な排泄を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例：尿便器の介助 事例：オムツ交換の介助、陰部洗浄の介助 <p>*ベッド、尿便器、紙おむつ、各種パッド、洗浄ボトル、タオル、バスタオル、防水シート</p>
⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> 睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> 事例：仰臥位、側臥位時の安楽な姿勢の介助 ベッドメイク・シーツの交換方法 <p>*ベッド、シーツ、枕、枕カバー、毛布、クッション、バスタオル</p>

⑫ 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	3時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援を理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討事例を示し、死の受容過程に基づいたケアについてグループワークを行い、発表する。
⑬ 介護過程の基礎的理解	6時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチについて理解する。 <p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・⑥から⑩までの演習事例を基に、介助の方法および留意点を考慮し、個別援助計画を作成する。
⑭ 総合生活支援技術演習	6時間	<p>《演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つの事例を示し、ワークシートを用いて、適切な介助方法、手順、留意点をグループで検討し、発表し、講師がコメントする。 ・2つの事例に基づき、演習を行い、チェックシートを用いて、評価をする。
合計	76	

10 振り返り（4時間）		
項目名	時間	講義内容及び演習の実施方法
① 振り返り	2時間	<p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の点についてワークシートに記入し感じたことをグループワークで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・研修を通じて学んだこと ・今後継続して学ぶべきこと ・根拠に基づく介護についての要点（利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等） ・サブテキスト「マンガでわかるトラブル解決事例集」を用いて振り返りをする。
② 就労への備えと研修修了後における継続的な研修	2時間	<p>《講義内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきことを理解する。 <p>《演習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修終了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における事例を紹介する。 ・就業への備えとして介護スタッフの接遇について、視聴覚教材で理解を深める。
合計	4	

全カリキュラム合計時間	131 時間
-------------	--------